

三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.439 平成29年3月21日
総務人事部 法務グループ

微細藻類燃料生産実証事業費補助金の継続採択を受ける

三菱化工機株式会社（社長：高木紀一）は、国立大学法人筑波大学を中心に産学協同で活動する一般社団法人藻類産業創成コンソーシアム（理事長：井上勲）が行う福島藻類プロジェクト事業に参画・活動を行っています。本事業は平成28年度より経済産業省資源エネルギー庁「微細藻類を活用したバイオ燃料生産のための実証事業費補助金」のもと、活動しております。

今回、さらに平成29年度「微細藻類を活用したバイオ燃料生産のための実証事業費補助金」にて補助金事業者として継続採択を受けました。

平成29年度は、一般社団法人藻類産業創成コンソーシアム以下の正会員9社と連携・共同し、高橋惇プロジェクトリーダ（高砂熱学工業(株)）のもと、各社の特性を活かし、藻類燃料単価の削減を目指して課題に取り組みます。

共同事業者（五十音順）

- ・株式会社熊谷組
- ・株式会社相双環境整備センター
- ・藻バイオテクノロジーズ株式会社
- ・高砂熱学工業株式会社
- ・国立大学法人筑波大学
- ・株式会社日水コン
- ・富士通株式会社
- ・ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
- ・三菱化工機株式会社

平成28年7月13日に交付決定を受け、排熱・排ガスCO₂・下水を利用することによる土着藻類バイオマスの高い生産量の実現、脱水・濃縮・抽出過程の効率化や抽出後の残渣再資源化の検討をしてまいりました。

福島県土着藻類の大量培養から燃料化までの一連の流れを実証するプラント「南相馬藻類バイオマス生産開発拠点」（場所：福島県南相馬市、福島県震災復興事業「福島県再生可能エネルギー次世代技術開発事業」H25.10-H27.02にて設置）及び各共同事業者が持つノウハウを最大限発揮し、会議等での活発な議論を経て、多くの成果を得ることができました。平成29年度は、これまでに得られた成果を実証するためのスケールアップ実証実験及び本年度抽出された課題解決に一致団結して挑みます。当社は長く下水道事業に携わってきた経験を活かし、下水を利用し土着藻類バイオマスを培養した際の、藻類バイオマスの収穫及び水熱液化処理を想定した脱水の最適化検討を行ってまいります。

問い合わせ先

一般社団法人藻類産業創成コンソーシアム

事務局 野口、郡司

secretariat@algae-consortium.jp

以上

お問い合わせ先

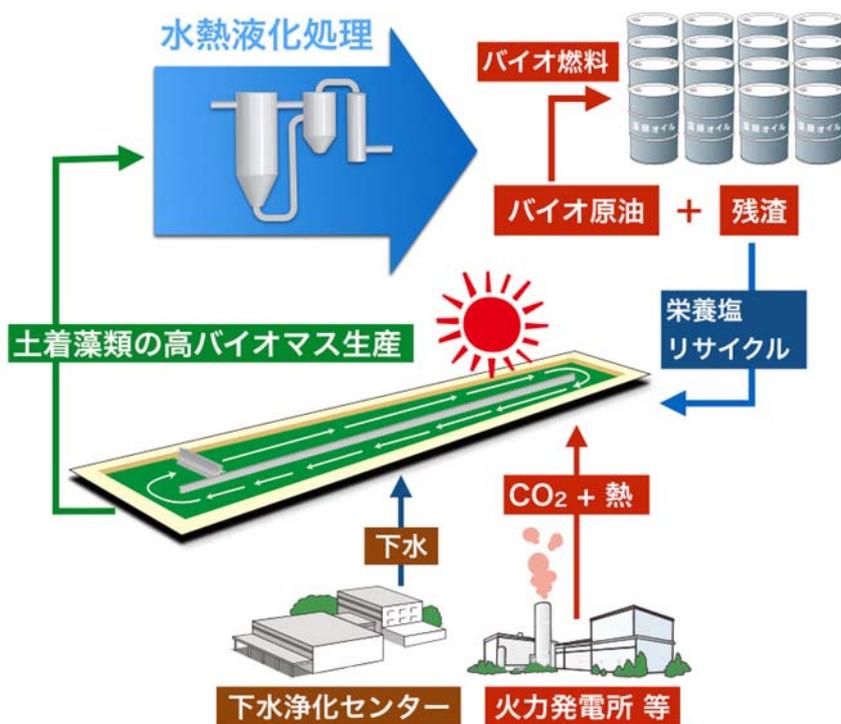
三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.439 平成29年3月21日
総務人事部 法務グループ

微細藻類燃料生産実証事業費補助金の継続採択を受ける



南相馬藻類バイオマス生産開発拠点



微細藻類由来バイオ燃料 一貫生産システム

お問い合わせ先